

「実籾ふる里祭り」で楽しく地域交流、 NI-Youth の仲も深まりました

谷口真里奈 (NI-Youth)

11月3日の実籾ふる里祭りで、NI-Youthは、タスカルーサ市青少年派遣事業や今まで行ってきたいいくつかのイベントの資料展示、小さい子ども向けのゲームを用意しました。

ゲームでは、ボールを的に向かって投げてもらい、当たった場所による国のお菓子を景品として用意しました。ただゲームを行うだけではなく、参加した子供たちにお菓子の国の国旗を見せて「どこの国だか分かる？」など、クイズ形式にして質問すると盛り上がりまし

た。小さな子どもでも、私が思っていたより国名を答えていたので驚きました。NI-Youth のみんなも楽しそうで、とても良い雰囲気イベントを行えたと思います。今後このような機会があったら国旗の種類を増やし、クイズなどを行ったらもっと

盛り上がりそうだと思います。

宮本習志野市長が来てくださった際に、大使館を回って世界中の「こんにちは」を録音で集め、それを流してカルタをする「こんにちはカルタ」という提案がありました。とても気になる内容で、NI-Youth のみんなも興味深い話として聞いていました。私も面白いなと思いました。なかなか話す機会のない市長さんと話げできたのはとても良かったです。また、市長さんがかつて NI-Youth だったことも知り、親近感が湧きました。



宮本市長を囲んで

今回のイベントを通して、NI-Youth に新しく入った人たちとも仲良くなれて良い機会だったと思います。これからもこのような活動を通していろいろな人と交流しつつ NI-Youth の仲も深めていきたいです。